西菱電機
SEIRYO ELECTRIC

ニュースリリース

2019 年 11 月 21 日
西菱電機株式会社

定点カメラと IoT センサーによる屋外監視サービスの提供開始

IT/IoT を使った業務システムの開発を手掛ける、西菱電機株式会社（本社事務所：大阪府大阪市、代表取締役社長：西井希伊、以下「西菱電機」）は、2019 年 11 月 21 日より、屋外監視サービスの提供を開始いたします。同サービスでは、定点カメラや IoT センサーを屋外に設置して、静止画データやセンサーデータを収集し、収集されたデータは、3G や LTE を介して、西菱電機が保有する IoT プラットフォームに集約されます。ユーザーは、遠隔地にいても、パソコンやスマートフォンからのデータ確認や、センサーデータがしきい値を超えた場合にアラートメールの受信、撮影時間などの設定の変更ができます。これにより、データが一元管理され、複数のサービスを行き来することなく、データをすぐに確認することができるので、業務の効率化が期待できます。

＜システムイメージ＞



■屋外監視サービス

【特長】

・定点カメラと IoT センサーを独立させることで、静止画で見たい場所、センサーで計測したい場所の数に合わせて導入ができるので、導入費用の削減、柔軟な配置ができます
・パソコンやスマートフォンから IoT サービスページにログインするだけで遠隔監視ができます
・データは一定期間保管されるので、データの収集や分析にもご活用いただけます

【利用例】

利用シーン	仕組み	メリット
ため池や河川の遠隔監視による水害対策	カメラと水位計のデータを組合せて、一定の水位に達したら、指定メールアドレスにメールを送信する。	遠隔地で、ため池や河川を監視することで、作業者の安全確保、人員の省力化が可能となる。

利用シーン	仕組み	メリット
農作物の遠隔監視による省力化、栽培の記録による高品質栽培	カメラと環境センサー（温度、湿度、土壌温度、土壌湿度）を組合せて、一定の水位に達したら、指定メールアドレスにメールを送信する。	自宅や外出先で、農作物や環境データの確認ができるので、必要な時に農作物を見に行くことができて、限られた人数の経営の中で省力化できる。
山や田畑の遠隔監視による鳥獣対策	カメラと赤外線センサーを組合せることで、鳥獣を検知したら、指定メールアドレスにメールを送信する。	鳥獣が現れたタイミングで通知がくるので、待機時間がいらず、必要な時に人員を割くことができる。

■「Seiryo Business Platform（SBP）」

「Seiryo Business Platform（SBP）」は、「IT で仕事をポジティブに、そして生活を豊かに」をアウトカムとして、業務効率化や生産性向上のためのサービスを提供しています。産業機械の稼働状況の可視化、圃場の環境の可視化、社内の屋内環境の可視化などの IoT サービスや、日報アプリ「Check-in（チェックイン）」、IP 無線（トランシーバー）アプリ「Transceiver（トランシーバー）」、インカムアプリ「Incom+（インカムプラス）」などのコミュニケーションサービスが提供されています。

■「Seiryo Marketplace」

「Seiryo Marketplace」は、インターネットから IoT 製品・業務用システムに関する導入の相談や、購入ができる、オンラインストアです。すぐに試せる IoT 機器セットや、無料で試せる業務用アプリなどを提供しています。取り扱い製品・サービスは順次拡充中です。

オンラインストア URL https://marketplace.seiryoelectric.com

【本件に関するお問い合わせ先】

西菱電機株式会社　本社事務所：大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル

広報グループ（本社事務所）TEL：06-6345-4160

事業開発本部（東京支社）　TEL：03-5777-3977　E-mail：info@cs.seiryodenki.co.jp